

(対象期間：2020/2/3～2020/2/7)

【株式市場】 SENSEX指数の推移  
(2016年1月1日～2020年2月7日)

## 【株式市場】

2月1日土曜日に発表された2020/21年度国家予算案の内容が期待ほどではなかったとして2月1日の特別セッションではインド株式市場は大きく調整しました。その後、1月の製造業購買担当者景気指数（PMI）、サービス業PMIが上昇したことや金融政策決定会合で不動産ローンに関するルールの緩和が示されたことなどを好感し、週間では上昇となりました。

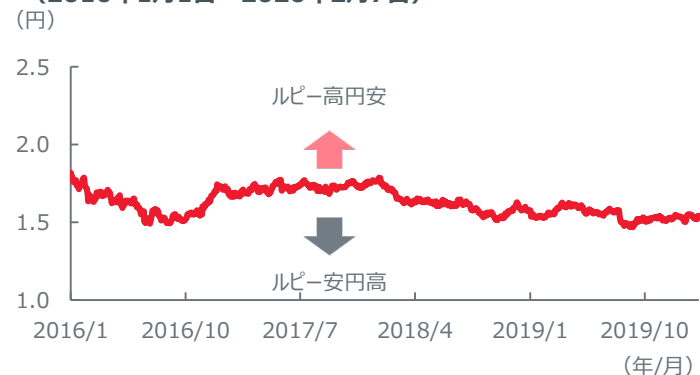
2020/1/31	2020/2/7	変化率
40,723.49	41,141.85	+1.03%

【債券市場】 インド自国通貨建て10年国債利回りの推移  
(2016年1月1日～2020年2月7日)

## 【債券市場】

2月6日の金融政策決定会合で、政策金利であるレポ金利を2会合連続で5.15%に据え置くことが決定されたことに加え、インド準備銀行（RBI、中央銀行）がインフレ見通しの不透明感を懸念するコメントを発表したものの、国家予算案で示された財政赤字目標が市場の想定の内だった安心感や、原油価格の下落、RBIの流動性支援策発表が支援材料となり、週間ではインド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

2020/1/31	2020/2/7	変化幅
6.601	6.441	-0.160

【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移  
(2016年1月1日～2020年2月7日)

## 【為替市場】

新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に為替相場の変動が大きくなったものの、次第に懸念が後退したことに加え、中国人民銀行（中央銀行）による公開市場操作（オペ）や中国による対米関税引き下げ報道、原油価格の下落などがルピーの支援材料となりました。ルピーは対米ドルで小動きとなる一方、円が対米ドルで下落したため、対円では上昇しました。

2020/1/31	2020/2/7	変化率
1.527	1.537	+0.68%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。